

メーデー 大阪支部

五月晴れの 5 月 1 日、第 96 回大阪地方メーデーが大阪城公園「太陽の広場」で開催され、約 1 万人が集結し、大阪支部からは職場委員および執行部の計 8 人が参加した。

式典では、阪神・淡路大震災から 30 年、また、戦後 80 年という節目の年であることを踏まえ「平和の尊さと命の重みを今一度問い直し、次代にしっかりとつなげていこう」と参加者に呼びかけた。

メーデー式典では、主催者代表あいさつで、田中宏和連合大阪会長は、物価上昇と実質賃金の低下、将来不安が続く社会情勢の中で、今年の春季生活闘争では多くの組合が昨年を上回る賃上げを実現しつつあることに触れ「いまこそ “人への投資” を社会全体で進めるべき時であり、労働組合には社会を変える力がある」と力強く訴えた。

メインスローガン「次代につなぐ平和の願い!みんなでつくろう支え合う安心社会と確かな未来を!」のもと、メーデー宣言が採択され、参加者全員で団結ガンバロウを行い、第 96 回大阪地方メーデー式典を締めくくった。

「海員だより」